

# 個人投資家向け会社説明会



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
Hokuhoku Financial Group, Inc.

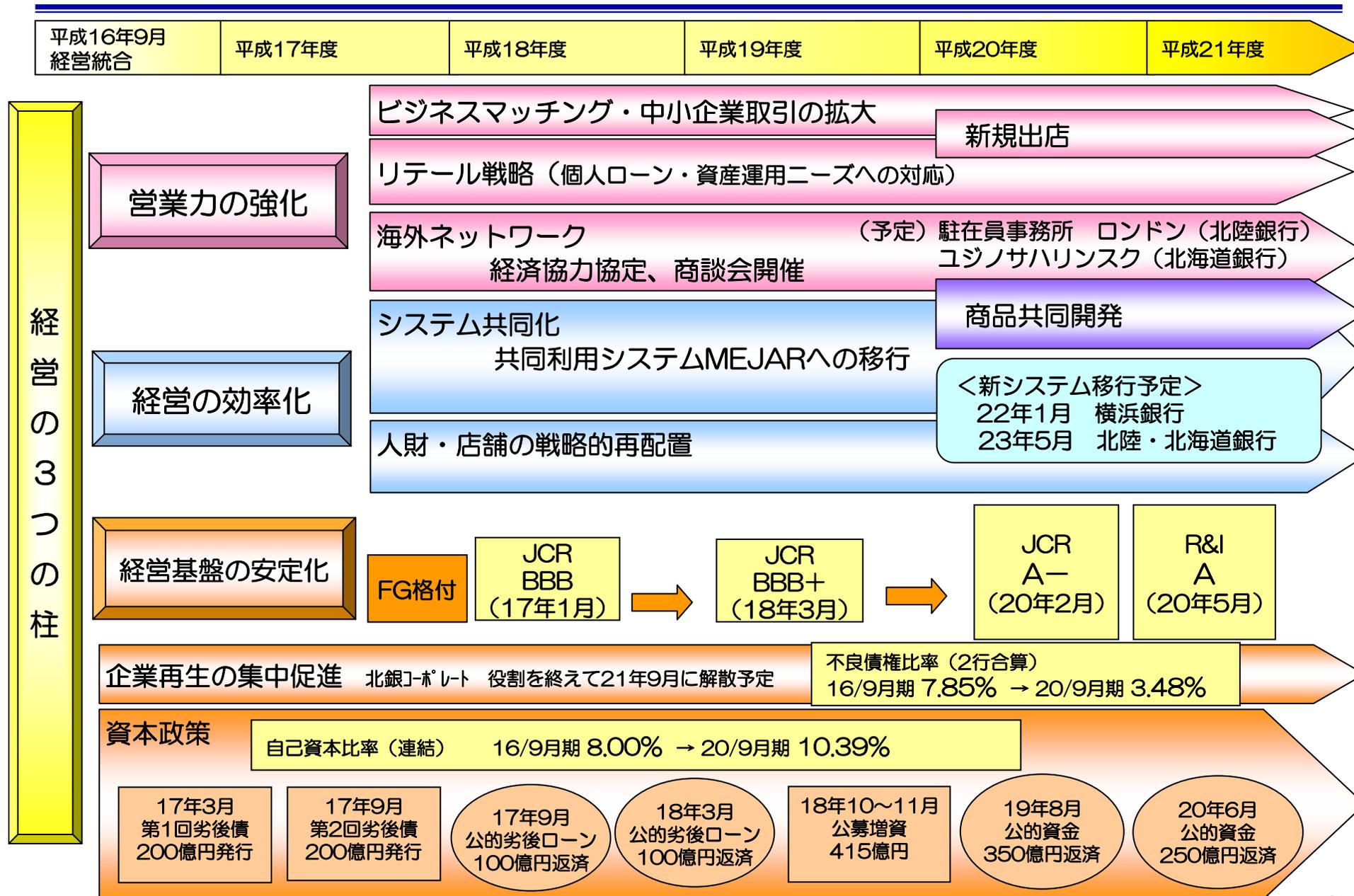
(東証1部、札証 証券コード:8377)

平成21年3月

- ほくほくFGのあゆみ
- 経営の3つの柱
  - 「営業力の強化」
  - 「経営の効率化」
  - 「経営基盤の安定化」～地域社会とともに
- 業績の推移
- 公的資金返済に向けて

# ほくほくFGのあゆみ

# ほくほくFGのあゆみ



# 経営の3つの柱

# ビジネスマッチング

20年 3月：物産セレクション2008inTOYAMA  
 20年 6月：ビジネスサミット2008in名古屋  
 20年 8月：北海道「食」商談会in十勝  
 20年 9月：第5回北海道の「食」特別商談会  
 20年11月：地方銀行フードセレクション2008

東海北陸自動車道全線開通イベント  
 大垣共立銀行との共催により約800件の商談  
 個別商談会、セミナー、農業生産法人の現場訪問  
 個別商談会では320件の商談  
 約350社の出展のうち取引先30社出展

## ビジネスマッチング実績

	19年度	20年度 上期
マッチング件数	2,605	1,098
販路拡大	1,925	751
不動産情報	680	347
融資実行額（億円）	252	312
新規融資	178	108
私募債発行（億円）	14	12
不良債権回収（億円）	38	20

ビジネス  
サミット  
2008  
in名古屋



北海道  
「食」  
商談会  
in十勝

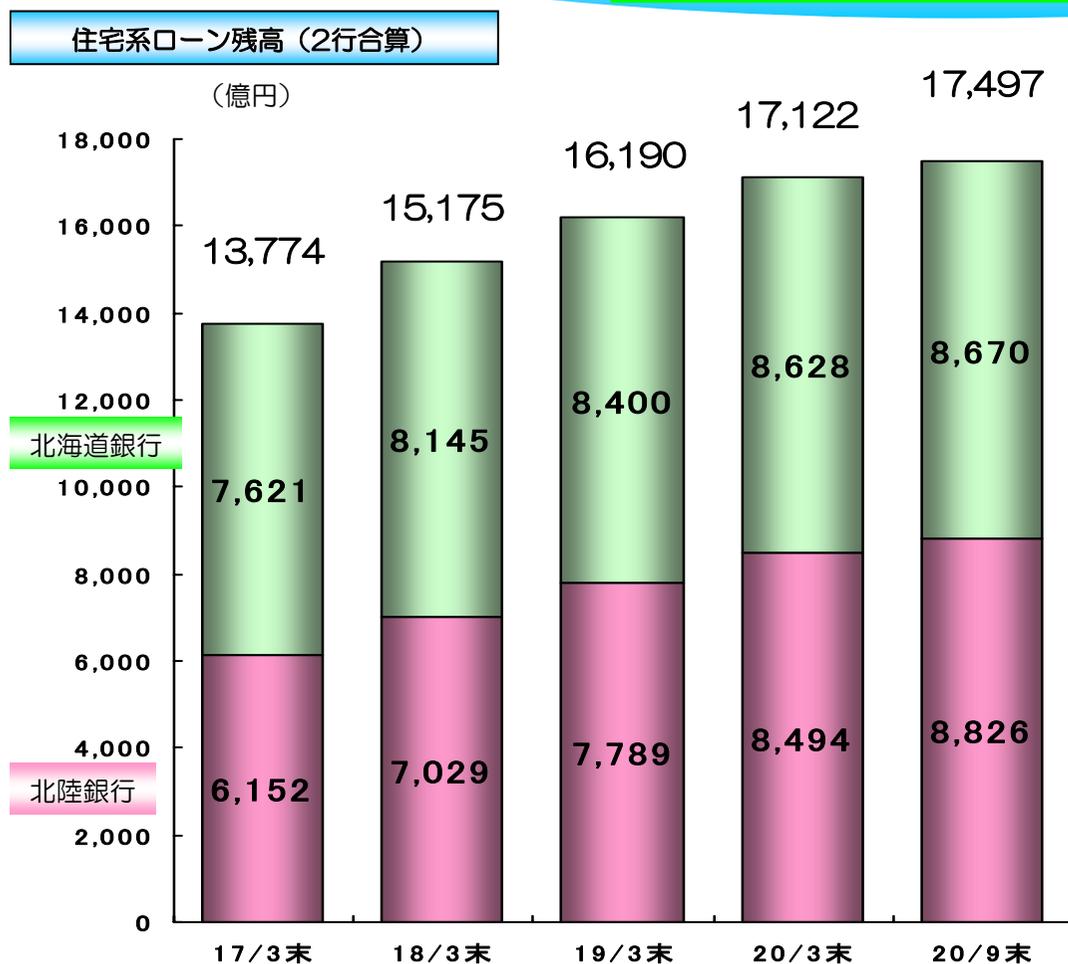


住宅ローンを中心に推進・お客さまの利便性向上・ニーズへの対応強化

ローン相談専門窓口の充実

商品の拡充

クイックレスポンス体制の構築



・8疾病保障付  
住宅ローン



・女性向け住宅ローン  
夢ホーム《VENUS》

・住宅ローン利用者向けサービス  
ハッピーエブリデー



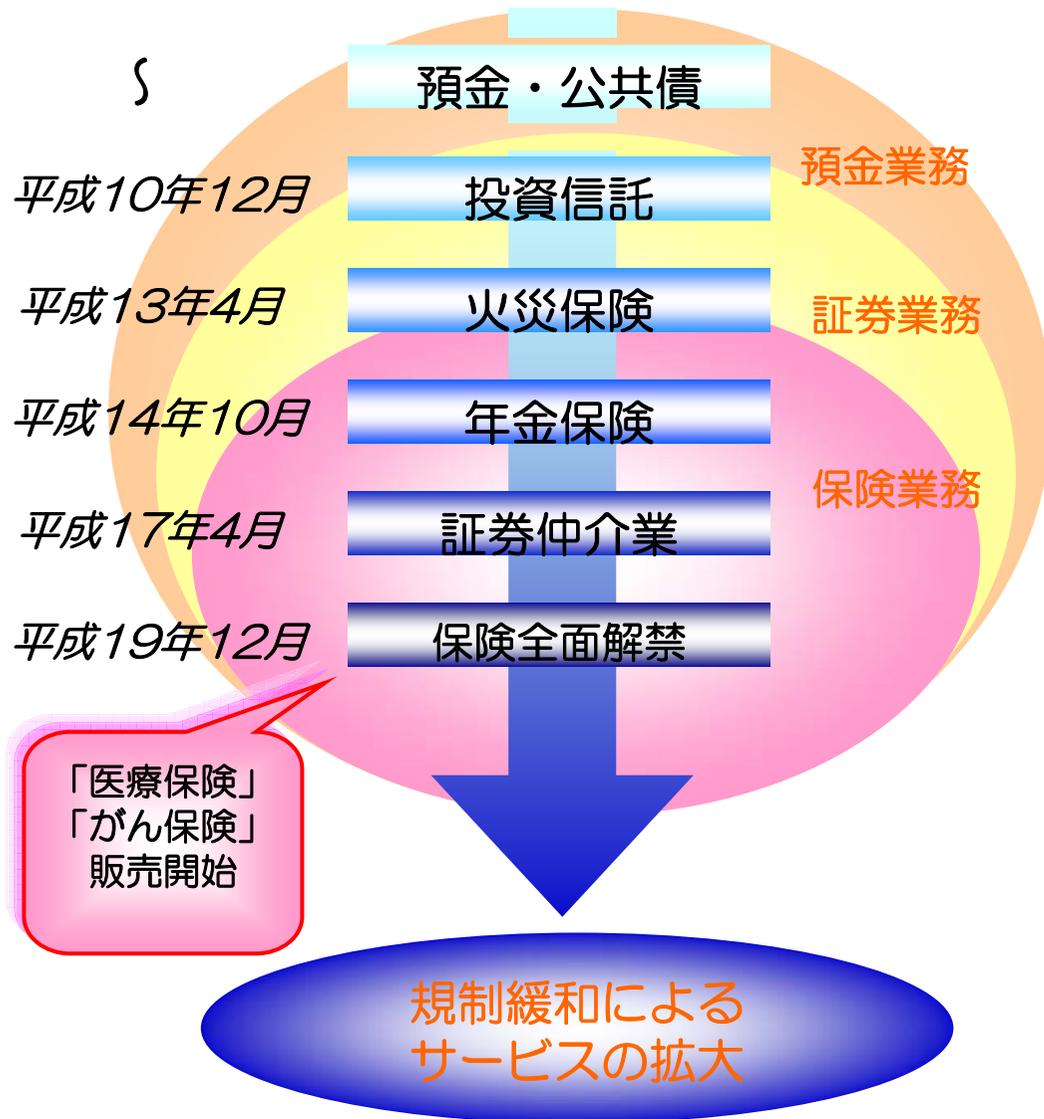
ローンプラザ

北陸銀行 53カ所(休日営業29カ所)  
北海道銀行12カ所(土曜営業2カ所)

ローン返済相談窓口（北陸銀行）

雇用環境悪化対策としてローンの返済条件等に関するご相談を受ける専用窓口を全店に設置

# 資産運用ニーズへの対応



ほくぎんドリームセンター武蔵  
多様化する資産運用ニーズにお応え  
できる新しい形態の専門店舗

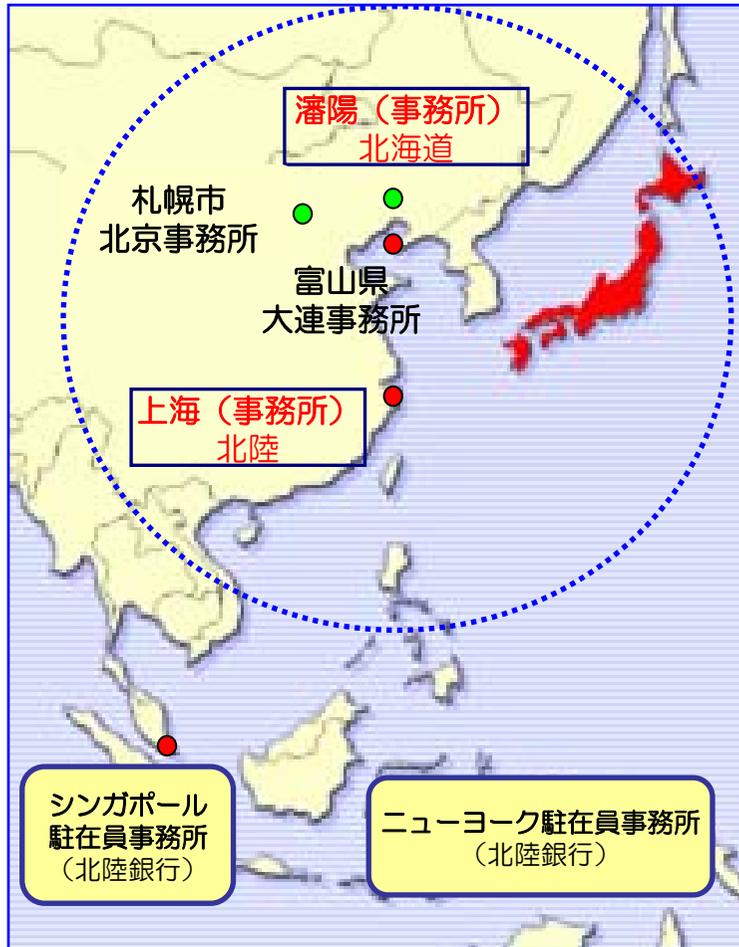
(北海道銀行)  
「宝くじ付き定期預金」  
またまた高額当選者誕生!!

- 19年年末ジャンボ宝くじ  
1等前後賞 3億円
- 20年サマージャンボ宝くじ  
1等前後賞 3億円
- 20年年末ジャンボ宝くじ  
2等 1億円



# 海外ネットワーク

環日本海・東南アジアに地銀随一のネットワーク



瀋陽（事務所）  
北海道

札幌市  
北京事務所

富山県  
大連事務所

上海（事務所）  
北陸

シンガポール  
駐在員事務所  
（北陸銀行）

ニューヨーク駐在員事務所  
（北陸銀行）

今後の予定

ロンドン駐在員事務所  
（北陸銀行）

ロシア・ユジノサハリンスク  
駐在員事務所  
（北海道銀行）

## 商談会開催

- 20年7月 「全国地銀合同商談会 in 上海」
- 20年7月 「ほくほくFG商談会 in 大連」
- 20年10月 「2008ビジネスマッチング in 瀋陽」

## 海外の行政機関との協定

- 【ほくほくFG】 上海市・遼寧省・広東省
- 【北陸銀行】 大連市・ベトナム政府
- 蘇州市
- 【北海道銀行】 瀋陽市・長春市・ハルビン

## 外銀等との提携

- タイ・カシコン銀行
- スタンダード チャータード銀行
- インドステイト銀行
- みずほコーポレート銀行
- 横浜銀行（3行海外情報ネットワーク）

## お取引先企業の会員組織(20/9現在)

ほくりく長城会	992社
ほっかいどう長城会	261社
上海長城会	160社
ほくほくASEAN会	150社

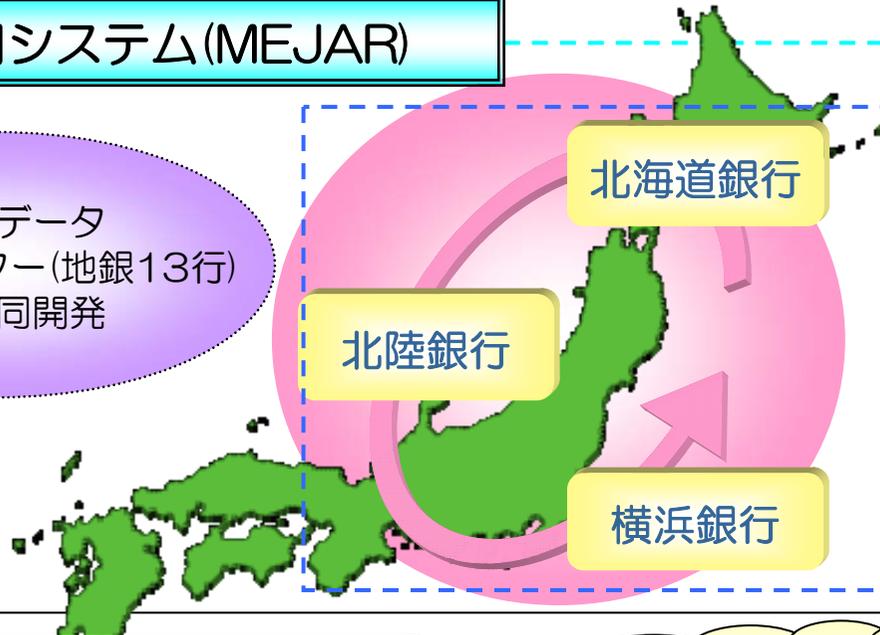
## サポート業務

- 現地視察
- パートナー探し
- 工場・子会社立ち上げ
- 当局許認可申請  
現地法・税制対応
- 貿易手続
- 口座開設  
資金調達
- 現地情報交換
- 駐在職員  
取引支援

# システム共同化

## 共同利用システム(MEJAR)

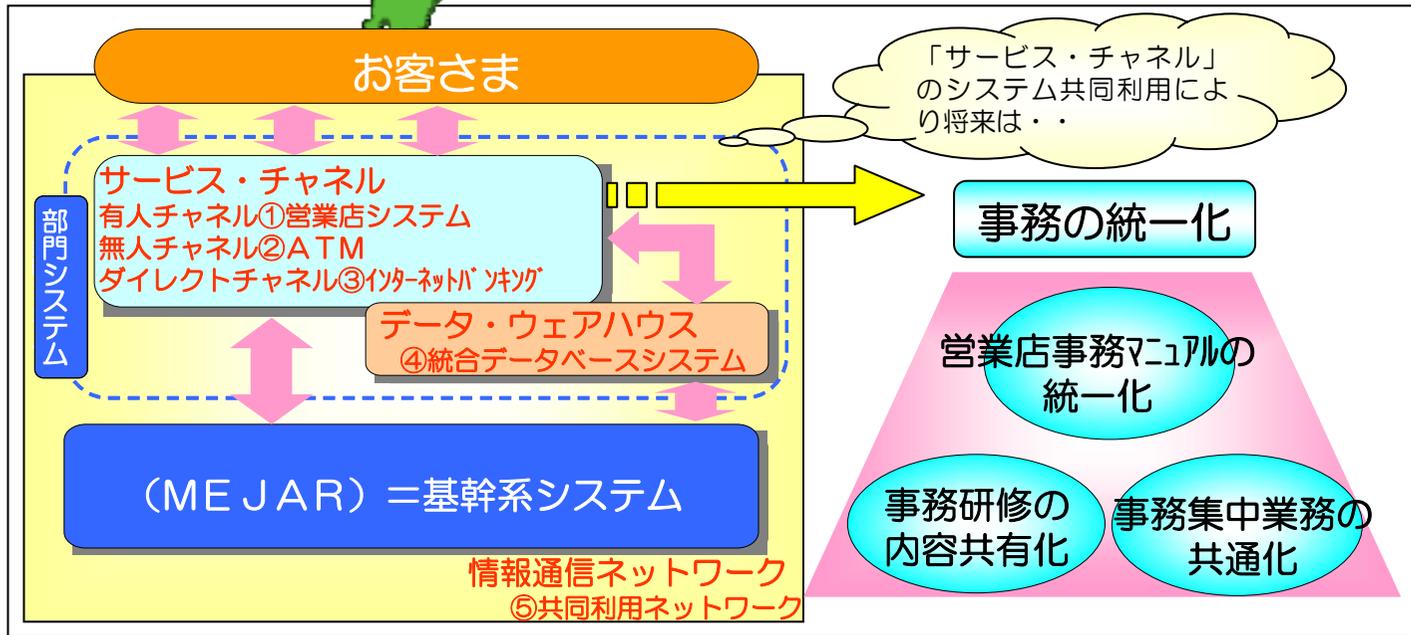
NTTデータ  
地銀共同センター(地銀13行)  
との共同開発



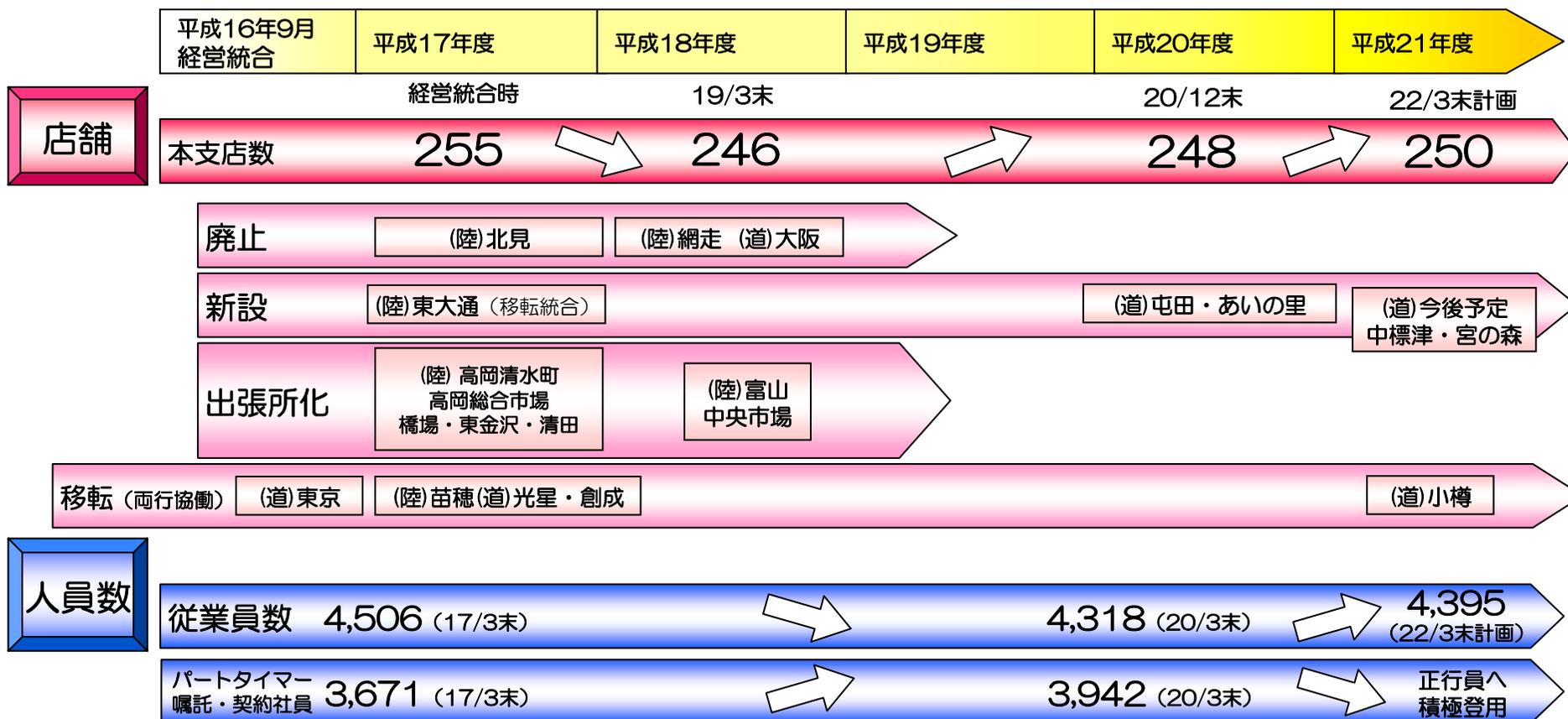
19年10月  
「地域金融マーケティング研究会」  
設立

20年2月  
「地銀リース業務研究会」  
設立

20年6月  
「地銀住宅ローン  
共同研究会」  
設立



# 人財・店舗の戦略的再配置



※店舗・従業員数は2行合算、健全化計画ベース。パートタイマーには派遣社員含む

《課題》  
リテール営業戦力の確保  
業務の多様化・専門化への対応  
地域経済への貢献

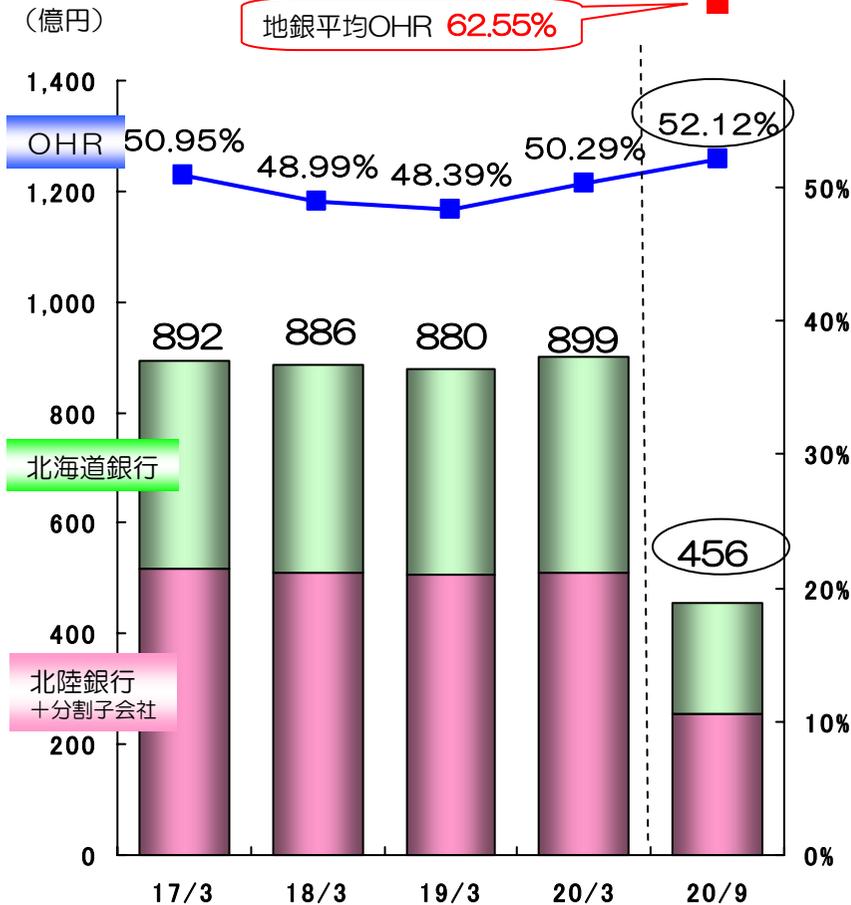
【北陸銀行】  
新規採用・中途採用の拡大・継続雇用  
パートタイマー直接雇用化 (H21/1～ 855人)  
アソシエイト制度  
(正社員登用を展望した嘱託・パートタイマー雇用体系)

【北海道銀行】  
新規採用・中途採用の拡大  
専門職行員制度

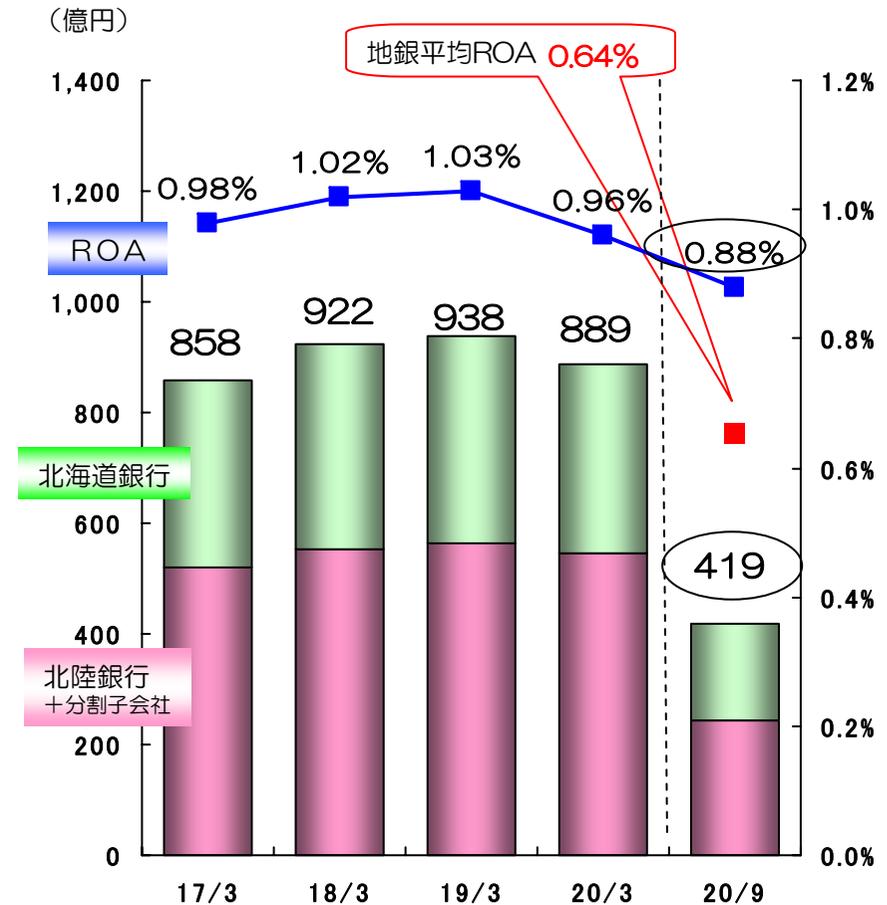
新規採用予定  
【北陸銀行】  
21/4月 216人  
22/4月 240人  
【北海道銀行】  
21/4月 179人  
22/4月 180人

# ローコスト・オペレーション

経費（2行合算+分割子会社）



コア業務純益（2行合算+分割子会社）



経費 = 人件費+物件費+税金

一般の企業で言う「販売費及び一般管理費」に相当します。

OHR = 経費 ÷ コア業務粗利益

少ない経費でいかに多くの利益を上げているかを示す指標で、数値が低いほど効率的です。

コア業務純益 = コア業務粗利益 - 経費

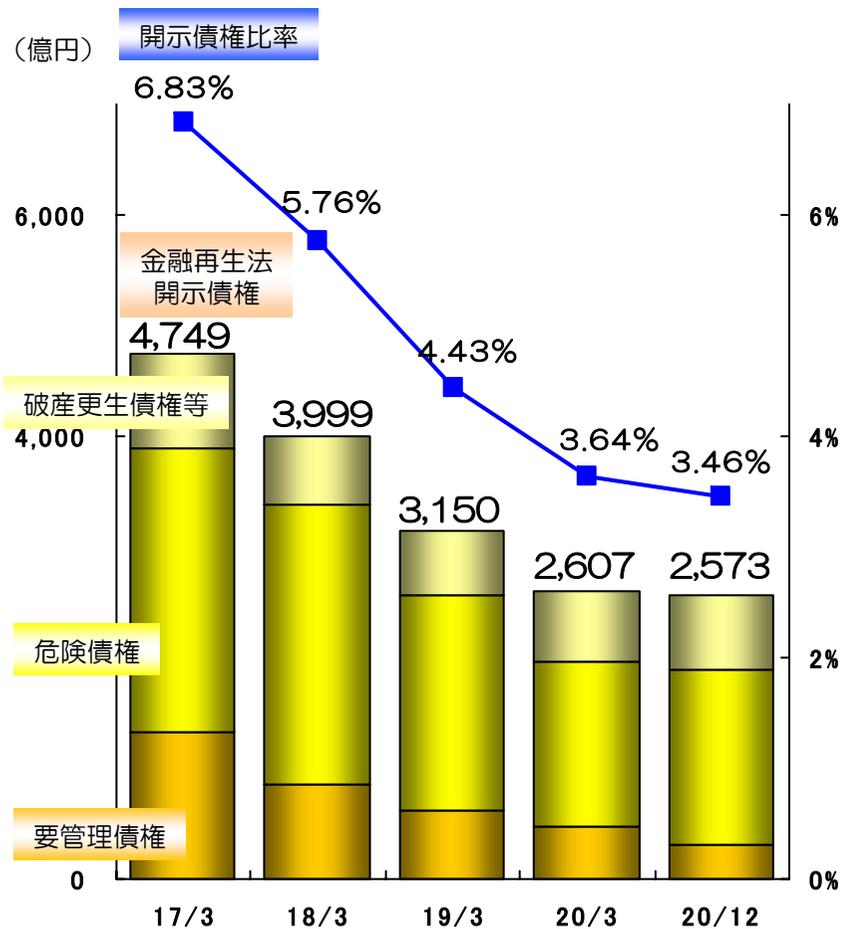
一般の企業で言う「営業利益」に相当し、銀行の本業の成果です。

ROA = コア業務純益 ÷ 総資産(期中平均)

資産をいかに有効に活用して利益を上げているかを示す指標で、数値が高いほど効率的です。

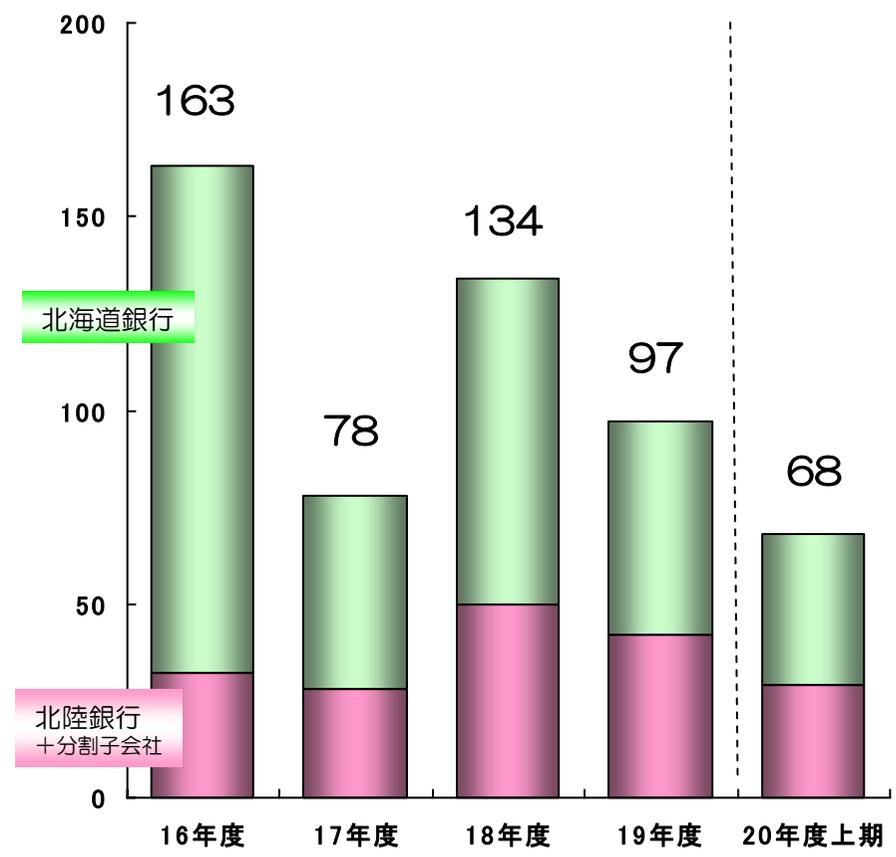
# 不良債権への対応

金融再生法開示債権（2行合算+分割子会社）

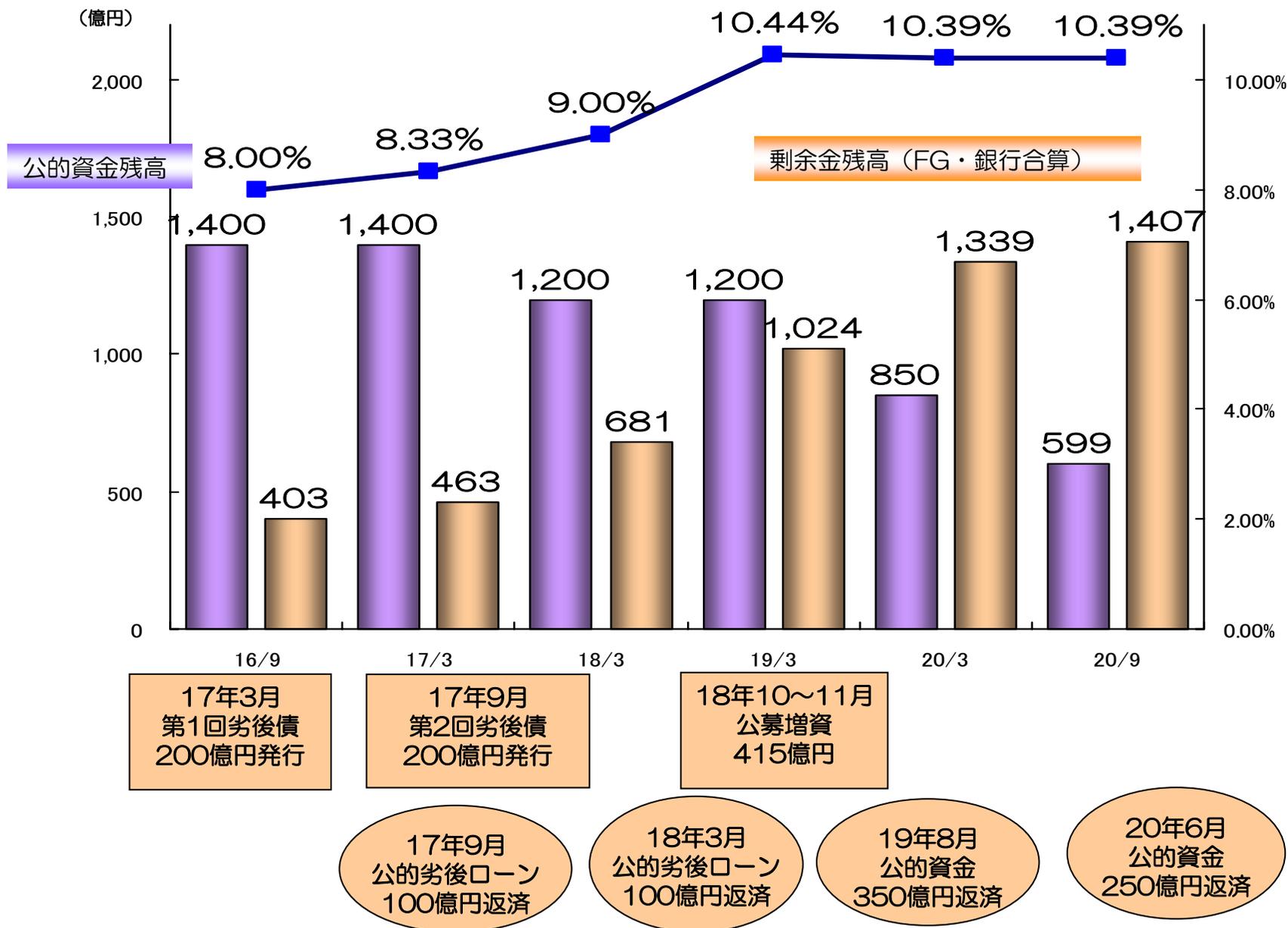


経営改善支援の取組成果

(先) 経営改善支援により債務者区分がランクアップした先数



# 自己資本比率 (FG連結)



- ・ 太陽光発電システム導入  
（北陸銀行3店舗）

- ・ 北海道洞爺湖サミットをサポート



「2008年夏、北海道が未来の扉になる」  
おめでとうの心。  
北海道洞爺湖サミット  
道民会議 2008  
北海道銀行は北海道洞爺湖サミットを  
応援しています

- ・ CO2排出削減マニフェスト登録証を授与  
北陸銀行名古屋支店  
～金融機関として初めて授与～

- ・ 植樹活動



- ・ 環境対策講座  
北陸電力様より講師を迎え  
職員向け啓発講座開催

- ・ クールビズの実施  
7月1日～9月30日まで



- ・ 両行で「カーボンオフセット付  
環境配慮型住宅ローン」の取扱

- ・ 森づくり地銀ネットワーク発足  
「日本の森を守る地方銀行有志の会」  
～北海道銀行を含む地方銀行8行で設立

- ・ エコバッグの提供



# ～地域社会とともに～ CSR（企業の社会的責任）

「地域と共に生きる」という高い志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。

## 金融教育



エコノミクス甲子園



こどものまちミニさっぽろ



認知症サポーター養成講座



ふるさと美化大作戦

## 地域密着



YOSAKOIソーラン祭り  
北海あほんだら会&ほくほくFG



富山まつり  
「おわら踊り街流し」



ライラックコンサート  
札幌コンサートホール キタラにて



まちづくり計画との連携  
北陸銀行 八尾支店

# 業績の推移

## ～業績の推移～収益

(9ヶ月実績)

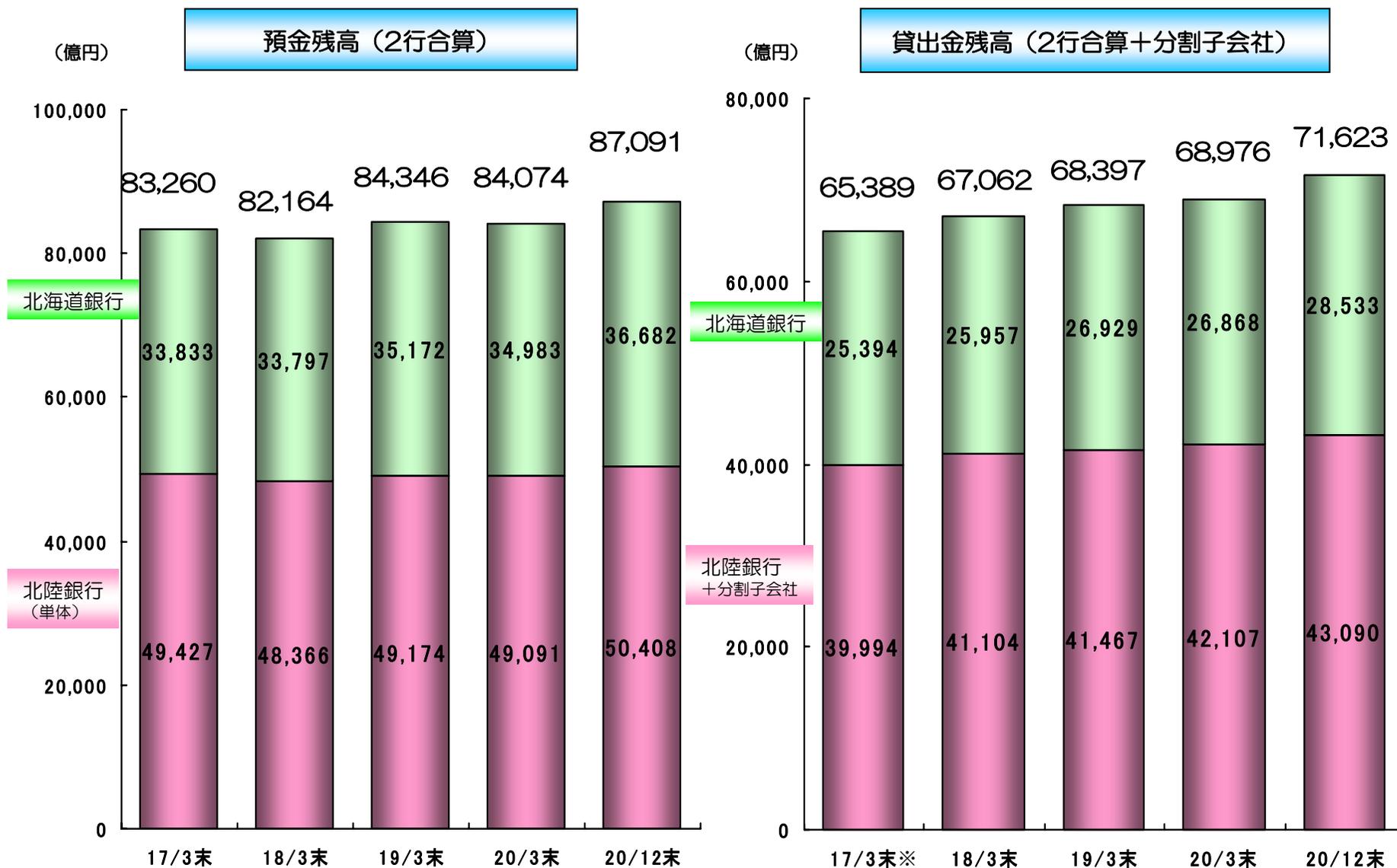
(ほくほくFG連結) (億円)	17/3 実績※	18/3 実績	19/3 実績	20/3 実績	20/12 実績	21/3 予想
経常収益	2,032	2,409	2,422	2,612	1,810	2,420
経常利益	272	482	700	663	144	260
当期利益	112	268	406	386	310	380

(9ヶ月実績)

(2行合算＋分割子会社) (億円)	17/3 実績	18/3 実績	19/3 実績	20/3 実績	20/12 実績	21/3 予想
コア業務粗利益	1,750	1,808	1,818	1,789	1,270	1,690
経費	892	886	880	899	688	930
コア業務純益	858	922	938	889	582	760
有価証券等関係損益	32	69	▲ 15	▲ 6	▲ 136	
不良債権処理損失額	▲ 594	▲ 477	▲ 256	▲ 247	▲ 271	▲ 315
経常利益	341	505	704	662	155	275
当期利益	152	290	397	402	337	420

※ ほくほくFG連結の17/3実績は、北海道銀行の損益について、9月1日以降の7ヶ月分を連結しております。

# ～業績の推移～預金・貸出金



※ RMBS調整後

# 公的資金返済に向けて

# 公的資金返済に向けて

「経営健全化計画」  
の着実な履行

=

公的資金の早期返済  
599億円

普通株の増配を検討。  
→早期に公的資金導入  
時以前のベースに。

民間優先株の消却を展  
望しつつ、連結Tier1  
比率8%の達成を図る。

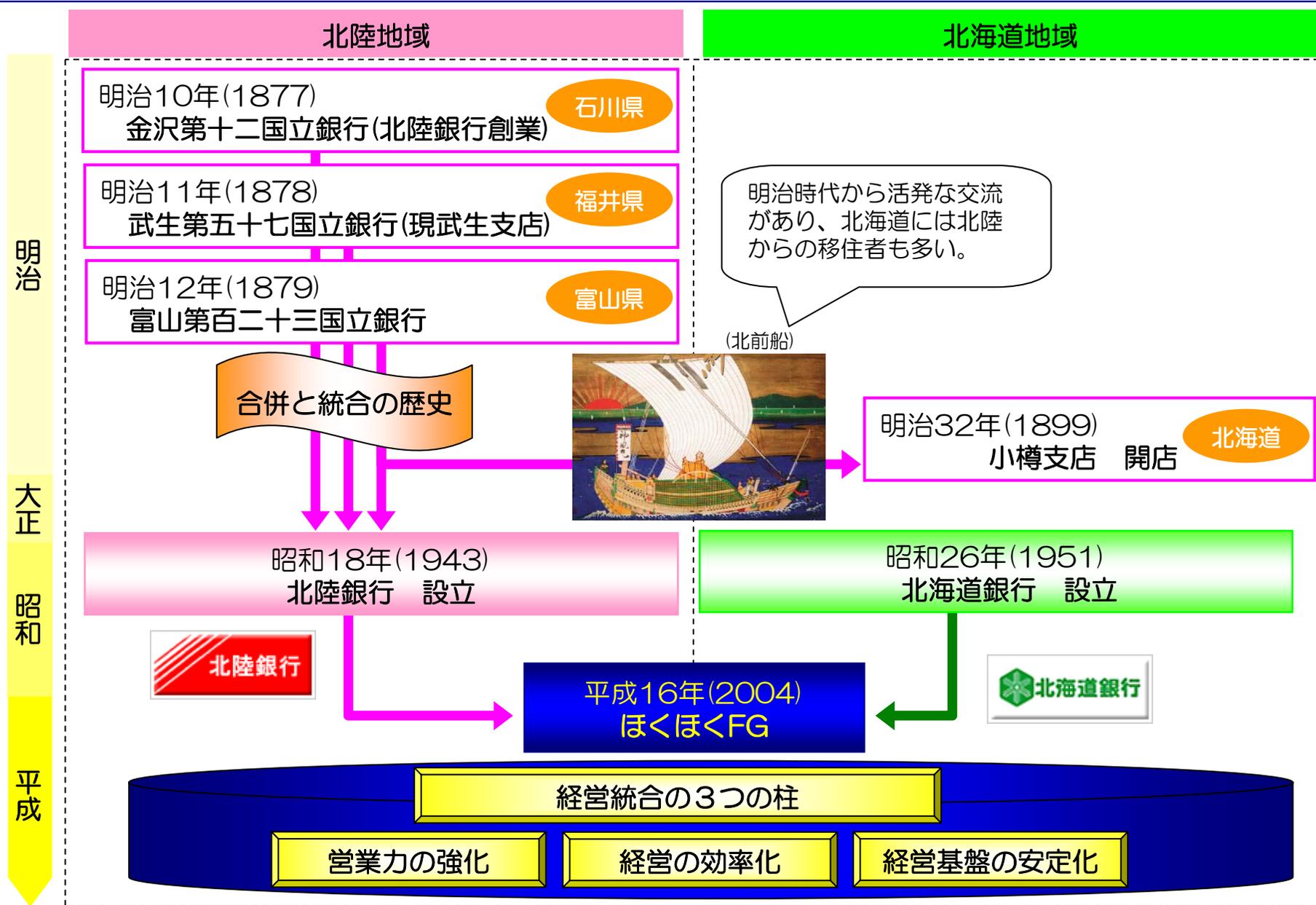
更なる株主還元策。  
(増配、普通株消却、  
成長に向けた投資等)

## 普通株配当実績

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
年間配当	1円	1円50銭	1円50銭	2円	2円50銭

平成20年度  
普通株配当予想  
3円

# (ご参考) ほくほくFG統合までのあゆみ



# (ご参考) ほくほくFGのプロフィール

プロフィール (平成20年9月末)	
商号	株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
設立	平成15年9月26日
本店所在地	富山県富山市堤町通り1丁目2番26号
資本金	708億9,500万円
発行済株式数	普通株式 1,391,630,146株 第1回第1種優先株式 50,000,000株 第1回第4種優先株式 61,400,000株 第1回第5種優先株式 107,432,000株
総資産	9兆7,400億円 [地銀中、第4位(連結)]
預金 (NCD含む)	8兆5,860億円 [地銀中、第3位(連結)]
貸出金	6兆9,810億円 [地銀中、第3位(連結)]
自己資本比率	10.39% (連結)
格付 (平成20年9月現在)	ほくほくFG A (R&I)、A- (JCR) 北陸銀行 A (R&I)、A- (JCR) 北海道銀行 A (R&I)、A- (JCR)

### 格付け状況

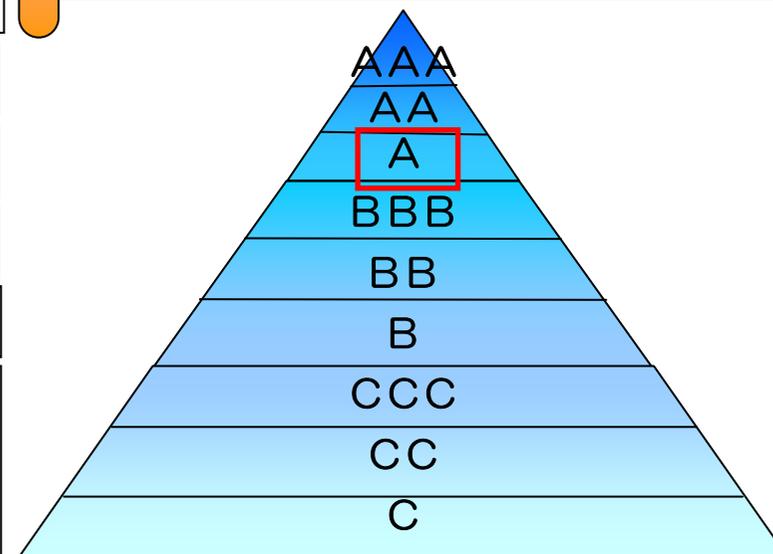
平成19年12月  
R&I BBB+ → A (2段階格上げ)  
～北陸銀行

平成20年3月  
JCR BBB+ → A- (格上げ)  
～ほくほくFG、北陸銀行、北海道銀行

平成20年5月  
R&I A  
～ほくほくFG、北海道銀行

《主な格上げ理由》

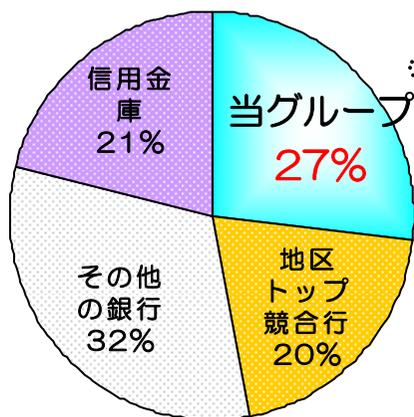
- ・信用コスト控除後の利益水準が着実に高まる。
- ・資本の充実度が質・量ともに大きく改善。
- ・リスク管理体制の整備が着実に進展。



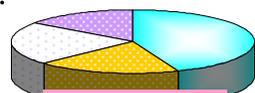
# (ご参考) 地域シェア

## 地域シェア (平成20年9月末)

### 貸出金



北陸三県



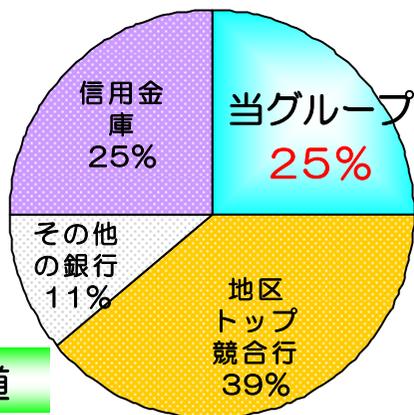
富山県44%



石川県18%

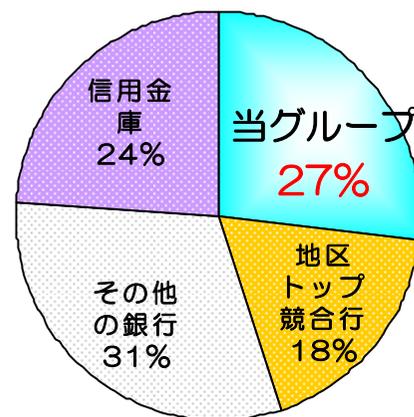


福井県15%



北海道

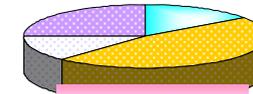
### 預金



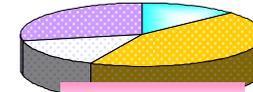
北陸三県



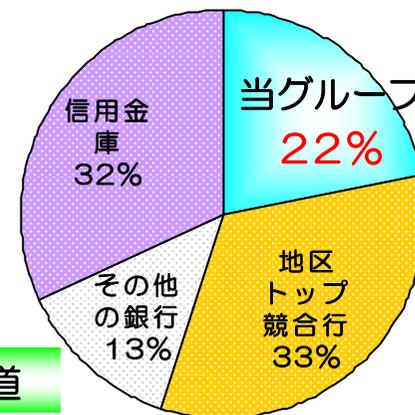
富山県47%



石川県15%



福井県13%

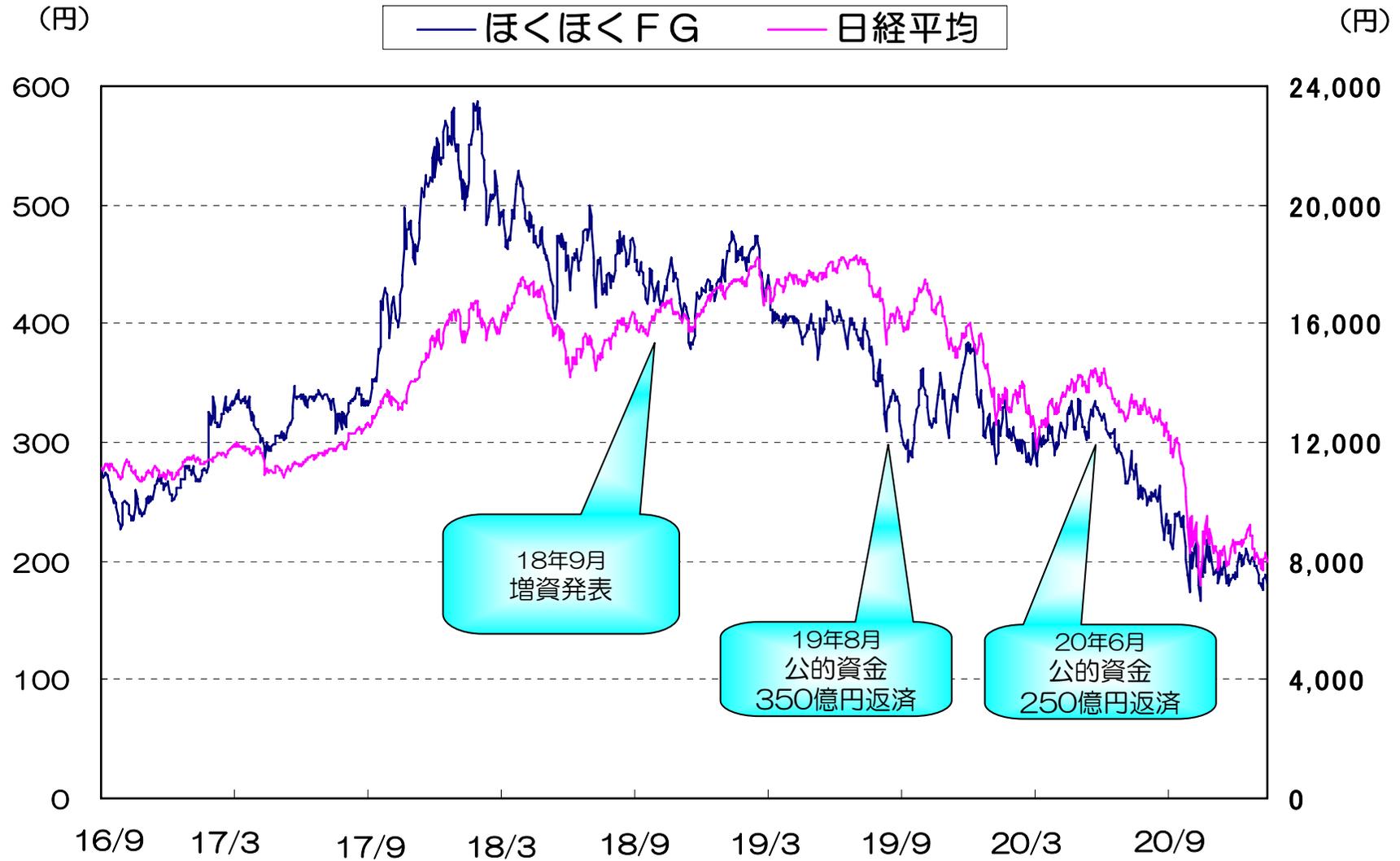


北海道

シェア ⇒ 預金・貸出金ともに、富山県でトップ、北海道、石川県、福井県で第2位。

規模 ⇒ 預金・貸出金ともに、地方銀行では、ふくおかFG、横浜銀行に次ぐ第3位。(平成20年9月末)

# (ご参考) 株価推移



本日はご多忙の中、当社説明会にご出席いただきまして、まことにありがとうございました。

本日のご説明ならびに本資料を通じまして、私どもほくほくフィナンシャルグループに対するご理解の一助としていただければ幸いです。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

取締役社長 高木 繁雄  
取締役副社長 堰八 義博

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
企画グループ(担当:東田)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:[honsha2@hokuhoku-fg.co.jp](mailto:honsha2@hokuhoku-fg.co.jp)

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。